

国内生産財分野に「機工事業部」を新設 ～機工分野の事業戦略を一元化～

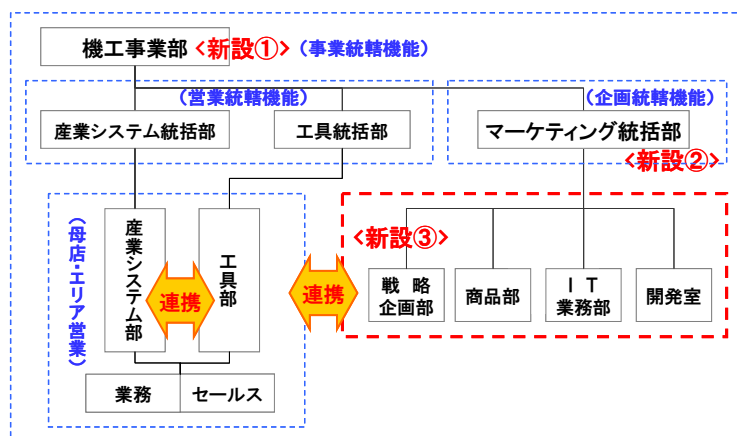
株式会社山善(本社:大阪市西区/代表取締役:吉居 亨/以下、「当社」)では、4月1日より、中期経営計画「VISTA-3S(2010年4月～2013年3月)」に基づく、生産財(機工)分野の事業戦略強化の一環として、現在の産業システム部と工具部の営業を一体的に統轄する組織として、新たに「機工事業部」を設置します。

(1) 機工事業部設置の背景

- 今、日本のモノづくり(製造業)は、世界的競争下にあり、技術レベルの高度化、生産のボーダレス化などによって大きく変容しています。日本の産業構造も変革の時期にあり、当社(特に国内生産財)としても将来性を担保していくためには、現事業の生産性向上はもとより、これまで以上に主力マーケット(金属加工分野)以外への進出や、海外での販売強化を進めていく必要があります。
- このため当社では、中期経営計画「VISTA-3S」において、「専門力」「組織力」といった戦略テーマのもと、課題解決に向けた取り組みを進めておりますが、こういった中で、まずは“オール生産財/山善”として、マーケットの変化やニーズに準拠した専門力・提案営業力を高めていくための一元化された「組織・機能」が必要と判断したものです。

(2) 組織図・人事

- ① 現・産業システム(統括)部と工具(統括)部を統轄する「機工事業部」を新設する。
- ② 機工事業部の企画機能の拡充のため「マーケティング統括部」を新設する。
- ③ 機工事業部のスタッフとして、マーケティング統括部の配下に「戦略企画部」「商品部」「IT業務部」「開発室」を新設する。



- 別途「人事異動のお知らせ」を参照ください。
- なお、国内各地区の「営業本部/支社」、「産業システム部」及び「工具部」に変更ありません。

(3)機工事業部の役割

- 加速度を増す変化に、迅速かつ柔軟に対応できる次世代に向けたイノベーションを、事業本位に一体的に推進します。
 - ① 生産財、特に機工分野におけるユーザーの生産・購買の変化に対応しつつ、販売先に統一感のある、きめ細やかな施策・提案をスピーディに提供できる体制を構築します。
 - ② 価格／品揃え／スピード／正確さといった生産財商社としての基本サービス向上に向けて、物流戦略、在庫戦略を含めた仕入れの強化を図ります。
 - ③ 海外との連携も含めた成長分野・得意分野を伸ばすための仕組みを整備します。
- 以上のような機能強化を図り、現2部門間の相乗効果を高め、中期的には売上高1,300億円を目指します。

以上